



西予市消防操法大会

委員会報告

P5 ~ P7

新人議員紹介

P16 ~ P19



## 移住交流促進事業 高川地域づくりり会



### ワークショップ

地域住民と愛媛大学の学生、出身職員によるワークショップ。どんなお試し住宅にしようかと話し合いの場。



### 改修作業・清掃

愛媛大学の学生が空き家を弁柄塗料できれいにお化粧。地域子ども達もガラス磨きのお手伝い。

地区内にあった空き家を、地域づくり組織が無償で貸与。地方創生予算で改修しました。



### 地元学の実践

地域資源を発掘しようと、愛媛大学の学生と地区内を歩きながら、話しながら魅力を再確認。



### アドバイザー派遣

アドバイザー派遣制度の活用。さあ、次の一手は何にするのか。

### 編集委員

委員長 源 正樹  
副委員長 宇都宮 久見子  
委員 信宮 徹也  
宇都宮 俊文  
中村 英雅  
山本 一雅  
小玉 忠明  
井関 陽一  
中村 敬治



**編集後記**  
この度西予市議会では多くの新人議員が誕生し、新体制がスタートしました。今後市民の皆様にも議会活動について興味を持っていただけるような紙面づくりを心がけてまいります。  
(源)



(卯之町「はちのじ」まちづくり整備事業)

# 59億7千万円

# (債務負担行為30年間)

## ? 債務負担行為とは

地方自治法第214条に規定されていますが、1つの事業や事務が複数年度にまたがって「負担II支出」をしなければならぬ場合には、議会の議決を経てその期間と限度額を設定するものです。



旧宇和病院跡地

### 卯之町「はちのじ」まちづくり整備事業 59億7千万円

債務負担行為として、  
期間(平成29年度～58年度)と  
限度額を設定する

## 改革を前向きに



と期待しています。

市民は今、新しい市長と議会に期待と不安が入り交じっていると思っています。その不安を払拭するためにも、行政も議会も改革を押し進める良いチャンスだと捉え、市民に理解し、支持してもらえらるような改革を進めてまいります。皆様の、ご理解とご協力をお願いします。

西予市議会議長 兵頭 学

三好市政12年の後を受け、管家一夫新市長が就任、議会も21人中10人の新人が当選し、特に、待ち望んでいた女性議員が2人も誕生し、女性ならではの気配りや柔らかなさで、議会にも新しい風を吹き込んでいただける



親子で三滝溪谷を散策

### 幼稚園研究事業 30万円

「森のようちえん」推進事業を実施。ジオパークを活用し、心豊かでたくましい幼児の育成



### ICTまち・ひと・しごと創生推進事業 3024万円

森林資源情報を一元管理する森林ICTプラットフォームシステムを構築



愛媛県西予市高川地区

### お試し移住希望者募集

### 移住交流促進事業 620万円

市内の空き家を活用し、移住者の住宅改修に対する補助金

## 6月定例会

平成28年第2回定例会が、6月10日から28日までの会期で開催されました。条例案件4件、補正予算6件等、理事者提案全15件を原案可決決定、その他7件を同意・承認しました。請願2件は不採択、陳情1件は採択と決しました。

一般質問は新人議員5名を含む計8名が登壇し、市の諸課題について質しました。

※予算額については、万円未満を四捨五入した数字です。



# 動き始めた卯之町「はちのじ」まちづくり

総務常任委員会

## 総務 常任委員会

### 「はちのじ」まちづくり

Q 事業着手が早すぎないか。

A 平成31年度までの合併特例債の期限もあり、有利な条件下でPFI法に基づく事業として、4エリアの公共施設の再整備を進めたい。

総合政策課

### 辺地の総合整備計画

Q 整備計画の現状は。

A 市内に該当する辺地は18地域ある。内11地域の整備計画が策定済み。今後残り7地域は必要に応じ策定する。宇和町に該当する辺地はない。

総合政策課

### 移住交流の促進

Q 空き家の利活用計画は。

A 県外からの移住者に対して空き家改修費の2/3を補助。上限額は一般200万円、子育て世帯400万円。海・里・山での空き家提供を準備中である。

まちづくり推進課

### 西予CATV(株)を視察



宇和町(卯之町2丁目)

西予CATVは資本金6,000万円。西予市の出資比率88.3%。社長、局長外職員11名の3課体制で取り組まれています。

3月末の加入件数はテレビ9,055件、ネット4,688件。世帯加入率はそれぞれ49%と25%です。今年度は西予CATV局舎増築に取り組み、事務作業の一体化と効率化、自主放送の充実を図る計画となっています。

### 請願

伊方原子力発電所3号機の7月再稼働を止める請願  
不採択(全会一致)

### 請願

西予市地域防災計画及び住民避難行動計画の見直しと再議論を求める請願  
不採択(賛成少数)

### 「森のようちえん」推進事業

Q 事業の概要は。

A 県単補助事業で、今回野村幼稚園で28、29年度に実施。園児が森林に親しみ、豊かな感性を育て自然や命への意識を高めることが目的である。

学校教育課

### 宇和文化の里の施設整備

Q 米博物館等の施設整備と今後の利活用は。

A 今年10月に改修が完了する。その後指定管理者を公募導入し、貸事務所、会議スペースとして活用の予定である。

経済振興課

## 質疑

**問** 市営球場の使用料改正に伴う野球部の使用料はどうなっているのか。

**答** 教育 部長 これまで同様、地元高校野球部が使用する場合は、グラウンド使用料は免除とし、夜間照明使用料については、2分の1を減免としている。

**問** 「文化の里」指定管理者制度導入の内容は。

**答** 教育 部長 ただし、新宇和球場においては、照明が2基増えたことで照明使用料金を増額したため、その分負担が増えることとなる。このことは、宇和高校野球部部長・監督に説明し理解は得ている。

**問** 米博物館を改修することに合わせ、現在かかっている費用の範囲内で指定管理者を公募するもので、平成29年4月1日以降になる。雑巾がけレースなどの許可は管理条件として入れる予定である。

**問** 宇和文化会館の今後の改修予定は。

**答** 教育 部長 トイレについては、本年度に1階女子トイレの一部洋式化を行い、平成29年度に残りのトイレを同様に改修する予定である。トイレ以外においても長期的に改修を必要とする箇所等は把握しており、改修にあたっては会館の基本財産6800万を財源として充当することも考慮しながら、計画的に実施する予定である。

**問** 卯之町「はちのじ」まちづくり整備事業の債務負担行為59億7千万円について、PFI手法とはどういったものか。また、駅前広場開発・重伝健・商店街・病院跡地の予算配分は。

**答** 財務 部長 PFIは、競争入札や随意契約と異なり、行政がすべて決めるのではなく、民間の創意工夫によってランニングコストまで考えて提案して頂く官民連携の方法である。

### 卯之町「はちのじ」まちづくり整備事業

エリア	建設費	維持費
駅前広場	17億円	13億3千万円
重伝建	1億3千万円	1千万円
商店街	1千万円	4千万円
病院跡地	11億円	16億円

## 委員会構成が決まりました

委員会	委員長	副委員長	委員
総務常任委員会	酒井 宇之吉	山本 英明	中村 一雅、佐藤 恒夫、中村 敬治、兵頭 学、藤井 朝廣
厚生常任委員会	森川 一義	河野 清一	宇都宮 久見子、宇都宮 俊文、竹崎 幸仁、井関 陽一、菊池 純一
産業建設常任委員会	小野 正昭	小玉 忠重	信宮 徹也、加藤 美香、源 正樹、二宮 一朗、宇都宮 明宏
議会運営委員会	源 正樹	竹崎 幸仁	信宮 徹也、井関 陽一、小野 正昭、森川 一義、菊池 純一
西予市環境衛生施設建設特別委員会	藤井 朝廣	佐藤 恒夫	宇都宮 久見子、加藤 美香、小野 正昭、宇都宮 明宏、森川 一義
西予市創生特別委員会	二宮 一朗	加藤 美香	信宮 徹也、宇都宮 俊文、中村 一雅、河野 清一、佐藤 恒夫、山本 英明、井関 陽一、菊池 純一



# 下水道事業の今後の見通しは

産業建設 常任委員会

## 公共下水道の現状について

- Q 加入率と工事進捗率は。
- A 平成28年3月末時点で、宇和地区の加入率は52.29%、進捗率は77.4%、野村地区では加入率59.12%、進捗率98.4%となっている。

下水道課

## 農業集落排水と公共下水道

- Q 将来的に合併する必要があるのではないか。
- A 人口が減少する中、使用料金や維持管理費用などを含め総合的に検討する必要があると認識している。

下水道課

## 駅前再開発

- Q 駅前エリア整備事業756万円についての詳細は。
- A 駅前エリア整備にかかる、JR四国所有地等の用地測量委託業務費および物件補償費の不足額の計上である。

建設課

## 伊予生糸(いよいと)は西予市の宝



織物館

野村町シルク博物館にて所管事務調査を行いました。  
西予市の特産である伊予生糸は、今年2月に地理的表示保護制度(GI)に非食品として初めて登録されました。  
現在、養蚕農家は7戸となり、生産量も大きく減少しています。  
伊予生糸の再興に向け、これから勝負です。

# 野村病院の地域包括ケア病床とは

厚生 常任委員会

## ケア病床

- Q ケア病床の設置条件等は。
- A 入院治療後にすぐに在宅や施設へ移行するには不安がある患者に、効率的なリハビリや在宅支援(相談・準備)を行う。施設基準で、在宅復帰率70%以上や専従の理学療法士等の配置が必要となる。
- Q 増床のメリットは。
- A ケア病床は薬代や診療費も含むが、診療報酬が一日2,558点(最高60日)の定額となっており、順調に運営できれば月額約250万円の増収を見込んでいる。

病院

## 売上収入

- Q 作業用手袋を生産している西予市三瓶授産場の売上高は。
- A 手袋生産における平成27年度事業収入は665万円であった。

福祉課

## 西予市衛生センターを視察



宇和町稲生

西予市衛生センターの本体工事は11月完成予定で12月より試験運転を行い、平成29年4月から供用開始する予定です。  
放流水は膜分離高負荷脱窒素処理方式を用い、紫外線による消毒も実施。臭気は、施設屋内の一部では多少するかもしれないが、屋外は無臭であるとの説明を受けました。

## 陳情

「森林・林業政策の推進を求める意見書(案)」採択の陳情について  
採択(全会一致)



## ICTの活用

- Q 一元化する森林情報をどのように活用していくのか。
- A 現在は、利用者として西予市森林組合と株式会社エフシーを想定しているが、詳細については今後協議検討する。

林業課

## 山林の再興を目指す

- Q ICTまち・ひと・しごと創生推進事業の詳細は。
- A 全国8ヶ所で先行実施されている森林情報一元管理による情報共有と管理効率化を目指す事業である。

林業課

## 診療所

- Q 各診療所の診療件数は。
- A 依津15.3件、狩江34.4件、高山14.6件、惣川15.2件、土居25.2件、二及45.8件、周木49.0件、遊子川16.7件/日ですべて減少傾向である。明浜の歯科診療所では土曜日の診療を始める予定である。

市民課

## 施設解体

- Q 宇和清掃センターの旧焼却施設の解体は。
- A ダイオキシン対策を行った上で、平成28年度に解体し、翌29年度にストックヤードを建設する予定である。

環境衛生課

## 簡易水道

- Q 簡易水道の後は。
- A 上水道との統合は将来的には考えるが、現在は今の施設を維持改修し、有効利用しながら上水道施設同様に給水を継続していく必要があると考えている。

水道課





宇都宮 久見子

一般質問

# 若者のUターン増への取り組みは

## 財務部長 移住交流政策の推進をはかる

**問** 西予市出身の若者がUターンできる流れが必要だが、現状をどう把握しているか。

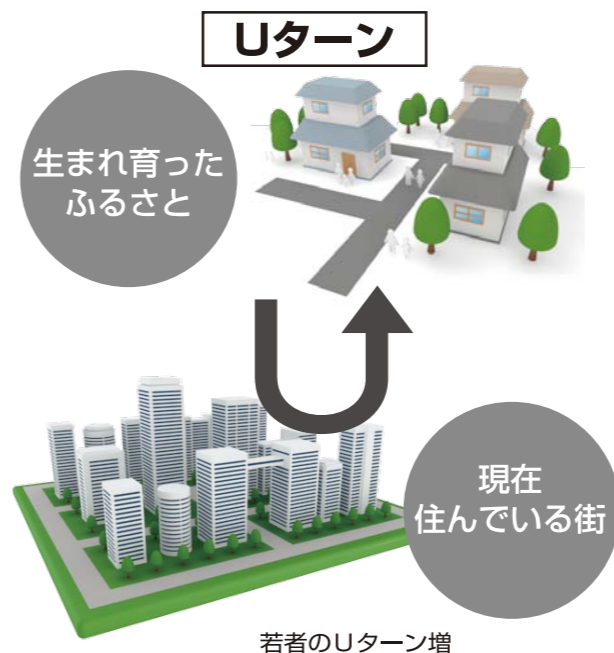
**財務部長** 小・中・高校生を対象とした意識調査によると年を重ねるごとに地元への愛着や、将来も西予市に住みたいという意識が低下してきている。一度都市部へ出ると、約4分の1しか地元西予市へ帰ってこない傾向にある。一番の流出先は松山市である。

**問** せっかく帰ってくる気持ちになった若者に対して、奨励金や家賃保証といった補助はできないものか。

**財務部長** 城川町で昔、奨励金事業が行われたが成果がなかった。Uターンだけにとらわれず、Iターン、Jターンも含め利用できる空き家の有効活用をはかりながら

移住交流政策の推進をはかる。空き家を移住希望者の確保の一手段としたい。特に県外からの移住者に対して空き家へ移住する場合空き家改修の一部経費等を補助する制度がある。

短期的な政策にならないよう十分成果が期待できる制度設計が今後必要になってくると思われる。



若者のUターン増

**問** 若者の働く場所の確保や所得向上が必要だと思われるが、企業誘致、事業承継などどのような対策をとっているか。

**産建部長** 企業誘致・事業承継は大変難しい問題であるが、行政面で可能な限りバックアップしていく。西予市のあきないプロジェクト、西予市商店街空洞化対策事業にとともに、店舗改装費、運営補助等、これまで以上に商店街の支援に力を

## 愛媛県よろず支援拠点 西予市サテライト相談拠点

売上拡大	商品開発	営業強化	創業相談
補助金活用	事業継承	現場改善・生産性向上	海外展開

経営支援を強化

入れていきたい。ふるさと就業創出奨励金として、新規卒業者を対象として1ヶ月1万円、最大3年間の奨励金を支払う計画である。要綱が固まり次第広報等でお知らせする。

**その他の質問**  
・女性の活躍する社会づくりについて  
・観光施策について  
・18歳選挙対策について  
・給食に関して



二宮 一郎

# 西予市が向かうべき方向は

## 市長 人口減少を緩やかに

**問** 西予市が向かうべき方向は。

**市長** 人口減少のスピードを緩やかにさせるための施策が必要だと感じたし、市政の中心に考えていきたい。そこで、子供を安心して産み育てる環境づくりや子育て支援策をできることから見直してきた。そして、市外からの移住者を積極的に受け入れる体制づくりで移住・定住促進にも力を入れた。また、西予市民5人に2人が高齢者という現状の中で、シニア世代の皆様に出していただく

き、私が掲げている「暮らしが安心して体感できるまちづくり」をともに作り上げていきたい。

**問** 災害時、要援護者プランの実効性は。また、被災者支援システムの取り組みは。

**福祉部長** プランに基づき、災害時要援護者支援プランを作成し、対象者は現在1951人で、

異動や状況変化を把握し、随時追加や修正を行い、常に情報を適正に保つようになっている。支援を希望される方は、地元の民生児童委員に相談していただくと、市に取り継ぎされることになっている。

**総務部長** 阪神・淡路大震災で甚大な被害を受けた西宮市で開発された、被災者支援台帳の作成から被災証明書・罹災証明書の発行、義捐金の



6月の大雨による災害 フケ下池堤体決壊(宇和町大江)

**問** 災害時のボランティア担当部門が必要では。

**福祉部長** ボランティア支援が必要な時は、災害対策本部に災害救援ボランティア支援本部を設置し、西予市社会福祉協議会と連携を図り、災害救援ボランティアセンターを社会福祉協議会に設置し、ボランティアの受け入れをする。



高まるボランティア活動に対する関心

また、市民の皆さんのボランティア活動に対する関心は災害時のみならず高まってきており、サポート体制の必要性は感じている。今後は、市民のボランティア活動の支援ができる体制を整え、広く周知したいと考えている。

**その他の質問**  
・学校運営について





佐藤 恒夫

# 西予市の財政状況は

## 市民目線で健全な行財政運営に努める

財務部長

**問** 大変厳しい財政だが、財政調整基金の枯渇で、将来的に予算が組めない状態にならないか。

**財務部長** 歳入については非常に厳しい状況が見込まれる。

当市では、行政評価システムを導入し成果主義的な視点から施策や事務事業を評価することで限られた財源を効果的・効率的に活用するなど職員意識改革も図っている。

一方で市民の方も、事業の見直し、または縮小をする場合は協力をお願いしたい。

事業の必要性、緊急性、計画性、費用対効果、妥当性について市民目線で取り組み、健全な行財政運営に努めたい。

**問** 第三セクターについて、厳しい経営状態を把握しながら改善策を講じないのか。



ほわいとファーム(野村町)

**財務部長** 現在市内には、第三セクターが9社、指定管理施設が38施設ある。そのうち24施設に、平成27年度指定管理施設委託料を約1億5千万円支出している。

施設の管理運営については、民間事業者が効率的な運営に努めているところもあるが、そうでない施設もある。

現状のまま財政支援を続けることは不可能である。将来の西予市の生き残りをかけて、抜本的な経営改革や指定管理者の委託内容見直しを早急に取り組みたい。

**問** 宇和地区の小学校教育再編計画について、なぜ3校体制が必要なのか。

**教育長** 学校の適正規模をできるだけ複式学級を解消する規模と

し、1学年が1学級から3学級程度までとすると計画に明記している。

計画どおり再編した場合、宇和下(明間・皆田・田之筋)は各学年1学級で6学級となり、宇和上(石城・中川・多田)は各学年2学級で12学級となる。宇和町小学校は適正規模の18学級を超えない規模で、推移していく

と見込まれる。

いずれの学校も市内の他の小学校と類似する学級規模となり、かつ、適正規模に収まるよう計画されたものであり、地域特性を生かした教育を進め、この3校が切磋琢磨していける教育環境を確保できると考えたものである。



平成28年度閉校予定の明間小学校(宇和町)



井関 陽一

# 森林活性化対策は

## 森林ICTプラットフォームシステムを構築

産建部長

**問** 森林の活用計画について、林業木材関連産業連絡協議会のその後と自伐林業の推進は。

**産建部長** 西予市の森林面積は3万8千haありその内の2万5千haがスギ・ヒノキなどの人工林で2万1千haが伐期をむかえている。

岡山県真庭市の森林を生かすICT地域づくり推進事業が有効と認知され全国展開されている中、当市も情報共有と森林管理の効率化をめざして、四国初となる森林資源情報を一元管理する「森林ICTプラットフォーム

「プラットフォーム」構築に取り組み、6月7日に総務省にてプレゼンテーションしたところである。(総務省より後日6月29日に採択候補の決定を受けた)

自伐林家育成については、森林施業の担い手不足が一番の問題であることとを認識しており、就業支援・技術支援を合わせて自伐林家支援事業制度の周知を行う。

講習としては、厚生労働省の委託で森林組合連合会が行っている20日間の知識や資格を身に付ける講習がある。

支援としては、県単で切捨間伐6万4千円/ha・搬出間伐18万円/haや市単で800円/m<sup>2</sup>などがある。機械購入に関しては、林野庁の1500万円限度額の無利子貸し付けがある。

当市の地域おこし協力隊の中にも興味を持たれている方もあり、市有林の一部を管理委託する方策も考えてみたい。



伐採期をむかえた森林

**問** 外国人観光客が増加する中、家畜伝染病に対する防疫対策は。

**産建部長** 県の調査では外国人の県内宿泊者数は10万人で、その内90%がアジアからである。断続的に口蹄疫の発生が確認されている中国・韓国・台湾からの観光客も当然あると思う。口蹄疫の発生は壊滅的な損害をもたらす疾病であると認識している。



**問** 臨時職員の正資格年齢を高く出来ないか。

**総務部長** 一般職、技術職、医療職があり、それぞれ資格年齢は異なっている。年齢を高くすれば応募が可能な対象者は増えるが、新卒者や若年層の採用者が減少し、職員全体の年齢構成バランスが崩れていくことも考えられる。長期的な視点

発生に対する対策は、国、県においてその指針が作られており、当市で

とともに、職種と応募状況に合わせて検討したい。





竹崎 幸仁

一般質問

# 学校跡地活用への取組みは

## 財務 安易な延命より勇気ある撤退を

**問** 学校統廃合が進み、跡地は閑散としているが、昨年度「西予市学校施設等の跡地利活用のための基本方針」が出されたと聞く。このことについての説明を求めます。

**財務 部長** 昨年6月に策定し、市の広報等で公表している。現在は利活用の要望の有無を跡地ごとに検討してもらっている段階だ。基本的な考え方は、活用意向がなければ公共施設又は民間施設としての活用を検討する。なお、活用見込みのない施設は、経費の支出抑制の必要性から解体・

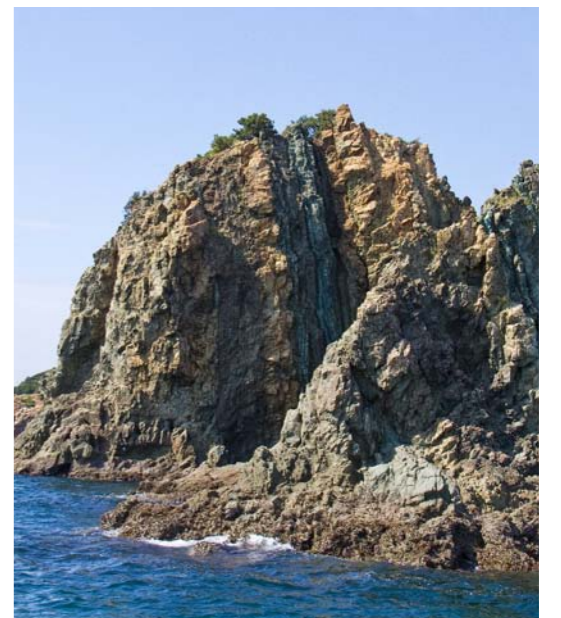
除却を行う。また、貸付についてはさまざまな条件があるが、現状の厳しい財政事情下、将来の人口減少を考慮すると、勇気ある撤退を念頭に進めていくことが西予市の生き残る道と考えており、提案内容を厳正に審査したうえで、市の財政負担とならないよう努める。

**問** 統廃合に際しては、跡地の利活用を先に決め、その後統合した地域もある。西予市の対応は後手を踏んでいると感じる。市内の跡地の利活用の現状は。

**財務 部長** 明浜地区の2校、三瓶地区の2校、城川・野村地区は1校ずつ貸し付けている。明浜・



旧蔵貫小学校(三瓶町)



誰もが訪れやすい須崎海岸へ(三瓶町)

**問** ジオパークのメインの一つである須崎海岸への散策が、高齢者や障がいのある方々でも可能となる遊歩道の整備は。

**三瓶 支所長** 須崎海岸は、県立自然公園で、愛媛県との協議、工事申請

手続きが必要となる。現在の遊歩道の延伸が考えられるが、民間業者が施設を保有しており、私有地であることから共有は難しい。ジオパークの保全と経済面を考慮し、今後の検討課題として、様々な立場の方々の意見を聞きながら、協議を行いたいと考える。いずれにしても、自然にはできるだけ負荷をかけないでおきたい。



加藤 美香

# 安心安全な給食を提供するために

## 教育 人的体制を整える

**問** 子供の食育と給食センターの人員配置は。

**教育 部長** 市内小中学校で学校栄養職員を配置し、食育の推進を図っている。栄養教諭等においては、事務的負担も多くなつてきており、事務分担等について再度検討し、負担軽減に努めていきたい。給食調理員については、現在の施設では調理員に係る負担が大きいので、今年度は作業工程、作業内容を再度見直し、調理員の負担軽減に努めていきたい。



老朽化した宇和学校給食センター

新宇和学校給食センターにおいては、徹底した衛生管理、調理員等の安全確保、調理作業ライン等を勘案しながら、安全・安心な給食を子どもたちに提供していくことを第一義に、人的体制を整えていきたい。

**問** 宇和地区における小学校再編計画の方向性は。

**教育 部長** 石城、中川、多田小学校を宇和上地区として一つに、皆田、明間、田之筋小学校を宇和下地区として一つに、宇和町小学校は現状のままで、3校に再編すると



女性管理職が活躍する福祉課

いう計画である。昨年度から、保護者を対象に説明会を行っているが、計画策定から6年余り経過しており、意見の変化、また地域によって関心度の違いや温度差も感じている。今後においては、保護者及び地域住民に、この再編計画について理解を深めていただくよう丁寧に説明していかねばならないと考えている。場合によっては、保護者説明会と地域説明会を同時に行うとか、地域代表である区長等に相談し、各地域の実情に応じた説明会を行うなど、説明会の在り方についても教育委員会で十分に協議し決定したい。

**副市長** 一般行政事務職員においては、職員数441人に対して、女性管理職は、課長2人、課長補佐6人の計8人で、登用率は7%である。西予市では、平成27年の女性活躍推進法の成立に伴い、平成28年4月に、「西予市特定事業主行動計画」を策定し、女性管理職登用のための取り組みを始めたところである。

**問** 西予市職員の女性管理職の登用について。





中村 一雅

一般質問

# 休止中の産廃施設への対応は

## 環境部長 地域住民の不安解消に努める

**問** 西予市宇和町郷内に設置された産業廃棄物焼却施設に関して、前市長からの申し送りを受けての所感は。

**市長** 三瓶住民が抱かれています不安と苦



休止中の産廃施設(宇和町)

しみは十分理解している。一方で施設の設置許可については法令等の基準に照らして県によってなされたものである。近年、全国でも環境汚染に対する不安や、立地・建設段階での合意形成の不十分さなど、紛争も珍しくなく、重要な課題となっている。今後は法で定める手続きに入る前に、周辺住民等への情報公開や説明等を義務付ける必要があるのではないかと思われる。

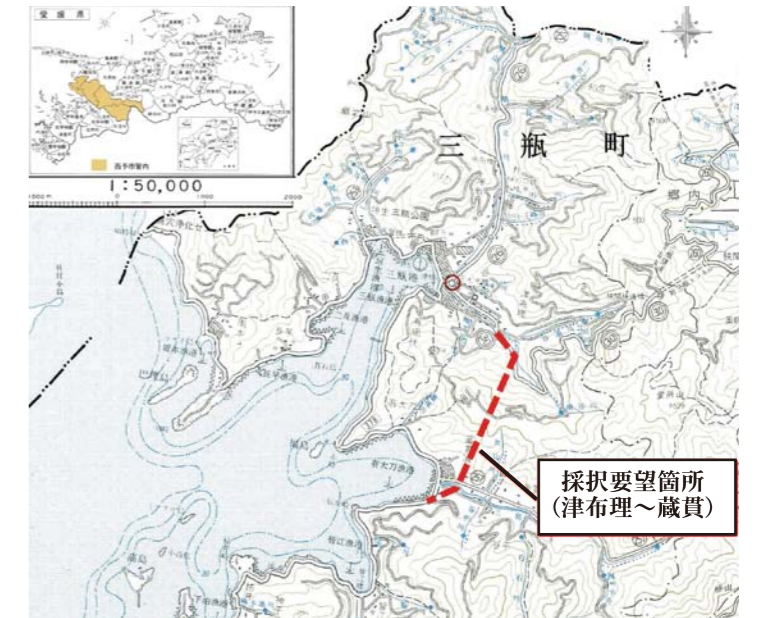
**問** 現在休止している当該施設が再稼働する場合、今後の対応は。

**福祉部長** 事業者は休止期間の長さに関係なく、再開する届け出を県に出す必要がある。県としては現地を立会いし維持管理状況などの確認を行うと聞いている。市としてもその際には県に対し立会いの申し入れを行う。

施設が転売される場合は法律に基づき、施設の譲り受けの許可申請を提出し許可を受ける必要がある。

**問** 蔵貫三瓶バイパスは防災避難道路としても重要だが要望活動と今後の予定は。

**産建部長** 蔵貫バイパスは、三瓶町の有網代・蔵貫間が台風の高波被害や裏山崩落などで度々通行阻害されていることや、原発事故及び南海トラフ巨大地震を想定した防災道路としての役割も大きいことから、国道378号(八幡浜・宇和島間)整備促進期成同盟会において平成20年度



蔵貫三瓶バイパス

に要望事項として取り上げて頂き、県や国に対して要望をしている。今後も新規採択に向けて引き続き要望していく予定である。

**その他の質問**  
・お年寄りに優しいまちづくりについて

域から21事業、総額約3千500万円の申請があった。

**その他の質問**  
・新市長の現在の心境及び、心構えについて  
・選挙管理委員会の事務の効率化について  
・地域活性化の基本的な取り組みについて



小野 正昭

一般質問

# 管家新市長に期待

## 市長 皆さんの声を真摯に受けとめ努力

**問** 「福祉の経験をまちづくり」といわれているが、厳しい財源の中どのように推進されるのか。

**市長** 福祉現場での経験を活かし、市民第一、職場での報・連・相(報告・連絡・相談)、県の動向を的確に察知するように努める。

市長として市民の皆さんの要望は真摯に受け止め、財政負担能力や必要性を総合的に検討して中長期的展望をもち、推進する。



初登庁の管家一夫市長

**問** 選挙に対する啓発と投票率の向上が選挙管理委員会の使命だと考えるが、区長会などに出向き地区の性情と今後の対応等、検討する考えは。

**選管書記長** 選挙が公明かつ適正に行われるよう、あらゆる機会を通して有権者への啓発に努

めることや投票の方法、選挙違反など選挙について必要と認める事項を有権者によく知らせることは重要な職務である。

市内の状況を見聞きし、具体的な啓発活動につなげることは重要であるので、区長会等の会合にも出向き、意見を聞く機会を持つよう、委員会 で検討していきたい。



地域づくり交付金を活用した取り組み



# 市議会のニューフェイス

新人議員紹介



西予市議会も4期目となり、今回10名の新人議員が誕生しました。自己紹介と議員活動への抱負を掲載します。



宇都宮 久見子

## 「若者の声が届く街」

私が、生まれ育ったふるさと西予市へ帰ってきて感じたこと。それは、少子高齢化、過疎化はもろろんのこと若い世代が地域・地元のことに関心な人が多いということ。政治なんて難しい言葉ではなく、自分たちの住んでいる地域のこと。あるいは真剣に考えなければならぬと思えました。そして、女性ということで軽視される場面が多々見受けられました。「やればできる」の精神

で、現在32歳、最年少議員として若いパワーと女性ならではの気づき、視点で頑張っています。これからの西予市を担う私たち世代が真剣に将来を考えられるよう、まずは市政に興味をもってもらいたいです。不満、疑問をきちんと市政に反映できるように努めてまいります。

西予市内の人生経験豊富な方々に、たくさんの方を教えていただき、ご指導いただきながら日々勉強してまいります。若者が将来西予市に住みたいと思えるようなまち、西予市に住んでよかったと思えるまちを目指してまいります。



祖父母の田んぼで稲刈り



信宮 徹也

## 「自然豊かで人柄の温かい西予を存続させ、守り、発展させる」

みなさまこんにちは。私は専業農家ということもあり一次産業の振興には一番力を入れたいところです。西予市は面積の75%が森林であり、どこに行っても農地はあります。しかし、伐採時期を迎えている森林も手つかずの所が多く、農地は農家の高齢化もあり、耕作放棄地が目につきます。

日本は「瑞穂の国」と言われるよう、集落は農耕を中心として発展してきました。今でも集落の行事ことは農耕に由来

し、五穀豊稔を祈願するものが多いと思います。当然ながら今では農業者の人口割合は高くはありませんが、一次産業の衰退は地域の衰退に繋がります。

農地は、一度荒廃させると再生には相当なエネルギーが必要で、眠っている資源の再発掘、新規の需要がある作物開発、新たな活動の取り組みなどを通して地域を守ってまいります。

まずは、みなさんと共に前を向き協力して次世代に引き継げる西予市を目指します。どうぞよろしく願います。



グループでの稲わら収集



宇都宮 俊文

## 「活気あるいなかり」

皆様はじめまして。私は息子たちと明浜でみかん作りをしながら、販売会社をつくって農水産物や加工品の販売、また現在では介護事業にも少し関わっています。

西予市の基幹産業は一次産業だと誰もが口にしませんが、経済ベースで言えば決してそうではないと思います。「農業ではやっつけいけない」とか多くの人が言いますが、過去の事にこだわらず、これからどうやってこの産業を活性化し自立できるかが大きな課題です。西予市は海拔0メートルから1400メートル

の大野ヶ原まで、とてもすばらしい食べ物や観光資源がいっぱいあります。これを活かしていきたいと思えます。

この資源を全国に発信するために、市民みんなが知恵を出し合い協力しあって元気なまちにしましょう。そして若者が増えお年寄りが元気になる、子供たちがのびのび育つそのような町になるようにがんばりましょう。まずは一人ひとりが前向きになっていくことが大切です。

新人でまだ行政の事はこれから勉強ですが、自分のスタイルでやって行きます。皆様どうぞ、よろしくお願いたします。



復活したかり笑小学校(旧 狩江小)



加藤 美香

## 「女性の目線で女性の声を議会に」

皆様、こんにちは。私は西予市議会に女性の議員がないことから、女性の目線で女性の声を議会に伝えたいと思いい議員に挑戦させて頂きました。女性議員が全国的にまだまだ少なく、西予市も自分の活動がきっかけになって、女性の地位向上を図り社会進出ができればと思っています。

次に、私の趣味は旅行とレクバレーです。世界を旅行することにより、日本のよさを再確認することができました。その経験を活かして、愛媛をアピールして行きたいと思



ケニアのサファリにて



中村 一雅

## 「まちの発展に全力で」

はじめまして、新人議員の中村一雅です。三瓶町津布理在住の57歳、子供が3人、孫4人おられますが、いずれも県外におります。この11年間夫婦二人暮らしでのんびりしておりました。この度選ばれて議席を頂きましたので、西予市の発展に微力ながら全力で頑張っていかなければならないと、心新たにしています。

任期がスタートして1ヶ月経ちましたが、頂く紙と連絡事項の多さに驚いています。先



幸せの黄色いリヤカー

日は定例議会にて一般質問を行いました。卵からかえったひよこが、初めてピヨと鳴いた感じでしょうか。これから4年間、日々学びながら皆様方の声を糧にして示された道を邁進して行こうと思っておりますので、お見かけになられた方はお気軽にお声かけ頂き、叱咤激励して頂ければと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新人議員紹介





河野 清一

「地域の声を市政に」

皆様こんにちは。4月の市議会議員選挙におきましては、当選の栄を頂きました。

選挙期間中、地域の隅々まで回らせていただき、中山間地のきびしい現状を目にしました。耕作放棄地、空き家の多さ、少子高齢化による人口減少、さらには「限界集落」という話も聞きました。やはりこの様な地域の振興におきましては農林業など第一次産業の活性化が重要であると考えています。国も所得補償制度などを導入して、農家の経営安定を図っていますが十分とはいえま

せん。

2月までは団体職員でありました私にとりまして、議員活動は戸惑うことばかりであります。地域の皆様の声を反映して、元気のあるまちづくりに少しでも貢献できるように勉強すると共に、一歩ずつ努力をしてまいります。

「地域の声を市政に」の初心を忘れることなく頑張りますので宜しくお願ひします。



実盛様の虫送り(城川町)



佐藤 恒夫

「安心して暮らせる地域作り」

西予市には、小さな集落がたくさん存在しています。そのほとんどが限界集落です。私が、生まれ育った宇和町明間板ヶ谷地区もそのひとつです。高齢化が進み、ひとり暮らしのお年寄りが、生活全般すべてにおいてサポートが必要な状態です。今こそ、地域を見直し、自分たちの地域は自分たちで支える体制作りが重要だと思えます。

どこの地域でも、以前は大勢の子供たちがいまし



ふるさとを想いつつ

た。その子供たちが、団塊の世代と言われる方々です。今、生まれ育ったふる里が、危機的状況になっていきます。今こそ、団塊世代が、地域を支える時ではないでしょうか。団塊世代の方が、セカンドライフは「ふる里で過ごす」と言って頂けるような体制作り、そんな活動を行っていきたく思っています。お年寄りが孤独にならないように、共に助け合う社会を目指して頑張ります。



山本 英明

「西予市大好き100パーセント」

西予市の皆様、こんにちは。私は、3月末まで公立中学校に勤務していました。38年間の教員生活からの大転換で、5月から新人市議会議員としての第一歩を踏み出させていただきました。題字にあるこの言葉は、私が校長として勤務していた各学校で常に「モットー」にしていた言葉です。今後は、新人議員として真摯な気持ちで、この場に立たせていただいた市民の皆様の声を最大限に聞きながら、皆様方の負託に応えるべ



どろんご祭り(城川町土居)

く、私なりに精一杯の活動を実践していきます。私は城川町土居に在住していますが、人口減少、少子高齢化等々、マイナス要因の言葉が飛び交っている今日この頃です。しかし、広い西予市には明るい話題も豊富にあります。西予市民の1人として全市民が「西予市大好き100パーセント」を感じられるように精一杯に努力します。今までの人生経験、職業経験を元に今後も自己研鑽を積みながら、明るく元気に誠心誠意がんばります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。



竹崎 幸仁

「まちの発展に貢献する」

『世の人は我を何とも言わば言え。我が為す事は我のみぞ知る。』

幕末の風雲児、坂本龍馬の旅立ちの際の一句です。小さい頃から泣き虫で決して優等生とは言われなかつた彼が、大いなる夢と固い決意を抱き、江戸へと向かうときに詠んだ句だと言われています。その後の彼の動向は皆様方もご承知のことと存じます。

昭和24年生まれの高齢者が、同級生や区長会、地域の人々の熱い声援を受け、市議会議員としての立場を頂戴した今、彼ほどの情熱と行動は無理

だとしても、皆様方の期待を前進に受け止め、為すべき事を成せるよう精一杯努力したいと決意しています。

幕末の動乱期と平和を謳歌している現在とでは雲泥の差があると感じています。今しかできないことを積極的に見だし、西予市民の一人として本市の発展に貢献できるように老骨に鞭打って頑張りますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



小玉 忠重

「小さな声を市政に」

福祉の仕事をやめて、はじめに百姓をしています。グルーブで紙の上で早苗を植える紙マルチ栽培を採用し無農薬有機栽培米を作っています。その目的は、除草剤を含む農薬・化学肥料を使用しないことです。また、土手の草刈をしなくてすむように、センチピーチ(芝草)を土手に植えています。

地域で活動している中で、小さな声を市政に届け、それを反映したいとの思いで議員になりました。種々の政策の中で、次の3つをあげたいと考えます。まず、子育て支援とし



紙マルチによる田植え

て、義務教育間の医療費無料化。次に、農業生産法人による耕作放棄地の活用。3番目に、命を守る生活道の改良。少なくとも救急車・消防車が時速50kmで走れる道路が必要です。いつまでも住み慣れた地域で生活できるよう頑張ります。ご支援をお願いします。



新体制がスタート。4年間よろしくお願ひします。(本会議場にて)